

様式 4

令和 8 年度第 2 回 富士見市安全安心なまちづくり・犯罪被害者等支援審議会 議事録						
日 時	令和 8 年 6 月 2 9 日（月）		開会 午後 1 4 時 0 0 分 閉会 午前 1 5 時 0 0 分			
場 所	富士見市役所 1 階 全員協議会室					
出 席 者	委 員	宮田委員長	平副委員長	齊藤委員	米山委員	新井委員
		○	○	○	○	×
		藤野委員	常泉委員	成田委員	松村委員	
		○	×	○	○	
	事 務 局	協働推進課 松浦課長、谷合副課長、瀬戸主査、竹内主事				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 議題 （１）アンケートモニター調査及び小中学校アンケートについて （２）第 2 期富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（案） （前半）について （３）第 2 期富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（案） （後半）について 4 閉会					

議 事 内 容	
宮田委員長	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) アンケートモニター調査及び小中学校アンケートについて 資料1 令和8年度第1回富士見市アンケートモニター調査結果 資料2 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画アンケート (小中学校)
	事務局 資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（前半）について、概要を説明。 委員 <質疑・意見> 資料1の問2の「不安に感じる犯罪」について、70代の方は侵入窃盗よりインターネットやSNSを利用した詐欺等の犯罪の方が不安に感じる方が多い結果となっているが、この要因は何か。 事務局 ニュースなどで高齢者がインターネットやSNSを利用した詐欺等の犯罪の被害にあう事例が紹介されることから、不安視される方が多いことが要因として挙げられる。 委員 子どもを狙った犯罪の項目があるが、子どもの性被害が増えているので、性被害を別の項目として追加するのはどうか。 事務局 回答項目の中に、痴漢・ストーカーなどの犯罪があり、性被害自体が複数の項目にわたるため、細分化が難しい。今回のアンケートでは、子どもの性被害は子どもを狙った犯罪の中に含まれる。 アンケートを行う際は、犯罪の項目については、今回の意見を考慮する。 委員 資料2の問6の結果のとおり、防犯カメラの必要性は高いことが分かる。防犯カメラに関しては、町会で設置する検討をしたが、地域での防犯カメラ設置はプライバシーの観点で家庭から承諾を得ることが難しいこと、設置後の運用が難しいため補助制度の活用が難しい状況である。 事務局 地域での防犯カメラ設置については、課題があることを認識している。課題について研究し、第2期防犯計画（案）のとおり防犯カメラ

	の設置、地域団体（町会、商店会等）による防犯カメラ設置への支援を推進していく。
委 員	一部の地域では街灯が少なく、防犯カメラもない場所がある。ソーラー式のライトを家の前に設置しているが、夜に子どもが帰宅する際に道が明るくなっていて安心できるので、防犯カメラに固執しなくても防犯対策は様々あると感じた。
	（２）第２期富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（案）（前半）について
	資料３ 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（前半）
事務局	資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（前半）について、概要を説明。
委 員	＜質疑・意見＞ 防犯の啓発活動について、毎回同じようなチラシが配られても、啓発の効果が薄れてしまうので、興味を引くような工夫が必要である。
事務局	関係団体と連携し、適切な方法で啓発を行っていく。
	（３）第２期富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（案）（後半）について
	資料４ 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（後半）
事務局	資料に基づき、富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画（後半）について、概要を説明。
委 員	＜質疑・意見＞ 犯罪被害者等支援総合的対応窓口の名称が長く、読んだだけではどういった窓口なのか想像しづらいので相性などをつけてより分かりやすく親しみやすい名称になればよい。
委 員	町会では、パトロールを行っており、地域内の変化や、空き家などに注意して見回りをしている。計画内に領域性という言葉があるが、地域に防犯に関する立て看板を設置するなど、地域を安全で安心なまちにすることをさすものか。
事務局	その通りである。地域に犯罪を行おうとする者を入り込みにくくするための取組をさす。

委 員	パトロールをしていると、空き家への侵入の痕跡のようなものが見受けれた場合どのような対応をすればよいか。
事務局	警察に通報をするべきである。
	(3) その他
	4 閉 会